

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第128期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	神姫バス株式会社
【英訳名】	SHINKI BUS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 上杉 雅彦
【本店の所在の場所】	兵庫県姫路市西駅前町1番地
【電話番号】	079（223）1243
【事務連絡者氏名】	企画部長 永井 勝浩
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市西駅前町1番地
【電話番号】	079（223）1243
【事務連絡者氏名】	企画部長 永井 勝浩
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社によるグループ内における内部監査の結果、連結子会社である株式会社ホープ及び株式会社エルテオ（商号変更前 株式会社エルテオ・ホーム）において、同連結子会社元代表者による会社資産の不正な私的流用の疑いがあることが判明しました。

これを受けて、神姫バスグループでは、外部専門家を加えた調査委員会を設置し、本件に関するより詳細かつ正確な事実関係の解明に着手してまいりました。

調査委員会による調査の結果、上記連結子会社の代表者を兼務していた元代表者が、架空工事及び水増し工事を上記連結子会社に発注させて、その工事代金の一部を私的に利用していたことが明らかとなりました。これに伴い、不適切な会計処理の訂正を行う必要が生じたため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成23年2月14日に提出しました第128期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

また、訂正後の四半期連結財務諸表については、新日本有限責任監査法人により改めて四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

#### 第5 経理の状況

##### 2 . 監査証明について

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書

###### 第3 四半期連結累計期間

###### 第3 四半期連結会計期間

###### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

###### 注記事項

###### (セグメント情報等)

###### セグメント情報

###### (1 株当たり情報)

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第127期 第3四半期連結 累計期間	第128期 第3四半期連結 累計期間	第127期 第3四半期連結 会計期間	第128期 第3四半期連結 会計期間	第127期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	29,811	30,519	10,085	10,299	39,471
経常利益(百万円)	1,215	1,204	360	439	1,391
四半期(当期)純利益(百万円)	694	880	255	368	1,392
純資産額(百万円)	-	-	28,711	29,968	29,363
総資産額(百万円)	-	-	43,752	44,736	44,752
1株当たり純資産額(円)	-	-	940.47	990.40	970.17
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	22.81	29.20	8.40	12.23	45.83
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	65.41	66.77	65.40
営業活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	3,579	3,628	-	-	4,703
投資活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	2,222	2,309	-	-	3,015
財務活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	658	645	-	-	1,275
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	6,383	6,769	6,096
従業員数(人)	-	-	3,157	3,144	3,144

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して  
 おりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載して  
 いません。

(訂正後)

回次	第127期 第3四半期連結 累計期間	第128期 第3四半期連結 累計期間	第127期 第3四半期連結 会計期間	第128期 第3四半期連結 会計期間	第127期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	29,811	30,519	10,085	10,299	39,471
経常利益(百万円)	1,215	1,204	360	439	1,391
四半期(当期)純利益(百万円)	694	<u>858</u>	255	<u>357</u>	1,392
純資産額(百万円)	-	-	28,711	29,946	29,363
総資産額(百万円)	-	-	43,752	44,715	44,752
1株当たり純資産額(円)	-	-	940.47	989.68	970.17
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	22.81	28.47	8.40	11.84	45.83
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	65.41	66.76	65.40
営業活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	3,579	3,607	-	-	4,703
投資活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	2,222	<u>2,288</u>	-	-	3,015
財務活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	658	645	-	-	1,275
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	6,383	6,769	6,096
従業員数(人)	-	-	3,157	3,144	3,144

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 第2【事業の状況】

### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(前略)

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間のわが国経済は、景気は緩やかに回復しつつあるものの改善の動きは弱く、依然として雇用不安や消費低迷から内需全般において自律的な回復が乏しい状況が続くなど、不安定で先行きが不透明な中で推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、「CSR活動の更なる推進」と、成長分野へのチャレンジ、グループ内外との連携強化などを中心とした「21世紀型のグループ経営」を柱として、安全と信頼及び収益の確保に努めてまいりました。結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は前年同期比214百万円(2.1%)増の10,299百万円、営業利益は前年同期比59百万円(17.4%)増の401百万円、経常利益は前年同期比78百万円(21.8%)増の439百万円、四半期純利益は前年同期比113百万円(44.3%)増の368百万円となりました。

(後略)

#### (2)キャッシュ・フローの状況

(前略)

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益619百万円に非資金項目である減価償却費等を調整した結果、前年同期比50百万円(6.6%)増の815百万円となりました。これは主に、分譲土地建物の販売による資金収入が増加したことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比926百万円(68.5%)減の426百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

(後略)

(訂正後)

(前略)

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間のわが国経済は、景気は緩やかに回復しつつあるものの改善の動きは弱く、依然として雇用不安や消費低迷から内需全般において自律的な回復が乏しい状況が続くなど、不安定で先行きが不透明な中で推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、「CSR活動の更なる推進」と、成長分野へのチャレンジ、グループ内外との連携強化などを中心とした「21世紀型のグループ経営」を柱として、安全と信頼及び収益の確保に努めてまいりました。結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は前年同期比214百万円(2.1%)増の10,299百万円、営業利益は前年同期比59百万円(17.4%)増の401百万円、経常利益は前年同期比78百万円(21.8%)増の439百万円、四半期純利益は前年同期比101百万円(39.7%)増の357百万円となりました。

(後略)

(2) キャッシュ・フローの状況

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益608百万円に非資金項目である減価償却費等を調整した結果、前年同期比39百万円(5.1%)増の804百万円となりました。これは主に、分譲土地建物の販売による資金収入が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比937百万円(69.3%)減の415百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

(後略)

## 第5【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

また、当社は、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,342	6,535
受取手形及び売掛金	1,615	1,678
未収運賃	542	712
有価証券	110	120
商品及び製品	381	355
仕掛品	86	76
分譲土地建物	1,110	1,453
原材料及び貯蔵品	102	104
その他	929	1,581
貸倒引当金	16	23
流動資産合計	12,203	12,594
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	21,928	21,299
減価償却累計額	14,861	14,422
建物及び構築物(純額)	7,067	6,876
機械装置及び工具器具備品	2,546	2,549
減価償却累計額	2,095	2,071
機械装置及び工具器具備品(純額)	451	478
車両運搬具	13,080	13,512
減価償却累計額	10,940	11,115
車両運搬具(純額)	2,139	2,397
土地	15,072	14,672
リース資産	2,554	1,868
減価償却累計額	677	362
リース資産(純額)	1,877	1,506
建設仮勘定	56	82
有形固定資産合計	26,664	26,013
<b>無形固定資産</b>		
施設利用権	196	171
無形固定資産合計	196	171
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,228	3,352
その他	2,489	2,667
貸倒引当金	46	47
投資その他の資産合計	5,671	5,973
固定資産合計	32,532	32,158
資産合計	44,736	44,752

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,092	1,080
短期借入金	835	385
1年内返済予定の長期借入金	545	990
リース債務	490	360
未払金	2,493	2,465
未払法人税等	209	730
未払消費税等	-	152
事故補償引当金	21	21
賞与引当金	602	844
役員賞与引当金	-	80
過年度雑収計上旅行券引当金	12	12
その他	1,948	1,498
<b>流動負債合計</b>	<b>8,252</b>	<b>8,621</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,407	1,582
リース債務	1,471	1,216
退職給付引当金	521	481
役員退職慰労引当金	324	323
受入保証金	1,693	2,114
負ののれん	6	8
その他	1,090	1,041
<b>固定負債合計</b>	<b>6,515</b>	<b>6,767</b>
<b>負債合計</b>	<b>14,767</b>	<b>15,388</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,235	2,235
利益剰余金	24,127	23,397
自己株式	414	409
<b>株主資本合計</b>	<b>29,088</b>	<b>28,363</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	783	906
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>783</b>	<b>906</b>
少数株主持分	96	94
<b>純資産合計</b>	<b>29,968</b>	<b>29,363</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>44,736</b>	<b>44,752</b>

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,342	6,535
受取手形及び売掛金	1,615	1,678
未収運賃	542	712
有価証券	110	120
商品及び製品	381	355
仕掛品	86	76
分譲土地建物	1,110	1,453
原材料及び貯蔵品	102	104
その他	929	1,581
貸倒引当金	16	23
流動資産合計	12,203	12,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,928	21,299
減価償却累計額	14,861	14,422
建物及び構築物(純額)	7,067	6,876
機械装置及び工具器具備品	2,546	2,549
減価償却累計額	2,095	2,071
機械装置及び工具器具備品(純額)	451	478
車両運搬具	13,080	13,512
減価償却累計額	10,940	11,115
車両運搬具(純額)	2,139	2,397
土地	15,051	14,672
リース資産	2,554	1,868
減価償却累計額	677	362
リース資産(純額)	1,877	1,506
建設仮勘定	56	82
有形固定資産合計	26,643	26,013
無形固定資産		
施設利用権	196	171
無形固定資産合計	196	171
投資その他の資産		
投資有価証券	3,228	3,352
その他	2,511	2,667
貸倒引当金	68	47
投資その他の資産合計	5,671	5,973
固定資産合計	32,511	32,158
資産合計	44,715	44,752

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,092	1,080
短期借入金	835	385
1年内返済予定の長期借入金	545	990
リース債務	490	360
未払金	2,493	2,465
未払法人税等	209	730
未払消費税等	-	152
事故補償引当金	21	21
賞与引当金	602	844
役員賞与引当金	-	80
過年度雑収計上旅行券引当金	12	12
その他	1,949	1,498
<b>流動負債合計</b>	<b>8,253</b>	<b>8,621</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,407	1,582
リース債務	1,471	1,216
退職給付引当金	521	481
役員退職慰労引当金	324	323
受入保証金	1,693	2,114
負ののれん	6	8
その他	1,090	1,041
<b>固定負債合計</b>	<b>6,515</b>	<b>6,767</b>
<b>負債合計</b>	<b>14,768</b>	<b>15,388</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,235	2,235
利益剰余金	24,105	23,397
自己株式	414	409
<b>株主資本合計</b>	<b>29,066</b>	<b>28,363</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	783	906
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>783</b>	<b>906</b>
少数株主持分	96	94
<b>純資産合計</b>	<b>29,946</b>	<b>29,363</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>44,715</b>	<b>44,752</b>

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	29,811	30,519
売上原価	22,249	22,860
売上総利益	7,561	7,658
販売費及び一般管理費	6,413	6,545
営業利益	1,148	1,113
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	37	33
持分法による投資利益	5	9
その他	86	97
営業外収益合計	149	157
営業外費用		
支払利息	33	24
固定資産除却損	25	24
その他	22	16
営業外費用合計	82	66
経常利益	1,215	1,204
特別利益		
路線維持費補助金等	6	33
運行補償金	97	291
解約保証金等受入益	-	457
特別利益合計	103	782
特別損失		
固定資産圧縮損	0	83
減損損失	-	212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	109
特別損失合計	0	405
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,582
法人税等	622	699
少数株主損益調整前四半期純利益	-	883
少数株主利益	2	2
四半期純利益	694	880

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	29,811	30,519
売上原価	22,249	22,860
売上総利益	7,561	7,658
販売費及び一般管理費	6,413	6,545
営業利益	1,148	1,113
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	37	33
持分法による投資利益	5	9
その他	86	97
営業外収益合計	149	157
営業外費用		
支払利息	33	24
固定資産除却損	25	24
その他	22	16
営業外費用合計	82	66
経常利益	1,215	1,204
特別利益		
路線維持費補助金等	6	33
運行補償金	97	291
解約保証金等受入益	-	457
特別利益合計	103	782
特別損失		
固定資産圧縮損	0	83
減損損失	-	212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	109
貸倒引当金繰入額	-	21
特別損失合計	0	427
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,560
法人税等	622	699
少数株主損益調整前四半期純利益	-	861
少数株主利益	2	2
四半期純利益	694	858

【第3四半期連結会計期間】  
 (訂正前)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	10,085	10,299
売上原価	7,585	7,727
売上総利益	2,500	2,572
販売費及び一般管理費	2,158	2,171
営業利益	341	401
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	14	15
持分法による投資利益	0	1
その他	24	38
営業外収益合計	45	61
営業外費用		
支払利息	10	6
固定資産除却損	9	10
その他	5	5
営業外費用合計	26	22
経常利益	360	439
特別利益		
路線維持費補助金等	6	33
運行補償金	77	154
特別利益合計	83	188
特別損失		
固定資産圧縮損	0	8
特別損失合計	0	8
税金等調整前四半期純利益	444	619
法人税等	187	249
少数株主損益調整前四半期純利益	-	369
少数株主利益	1	1
四半期純利益	255	368

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	10,085	10,299
売上原価	7,585	7,727
売上総利益	2,500	2,572
販売費及び一般管理費	2,158	2,171
営業利益	341	401
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	14	15
持分法による投資利益	0	1
その他	24	38
営業外収益合計	45	61
営業外費用		
支払利息	10	6
固定資産除却損	9	10
その他	5	5
営業外費用合計	26	22
経常利益	360	439
特別利益		
路線維持費補助金等	6	33
運行補償金	77	154
特別利益合計	83	188
特別損失		
固定資産圧縮損	0	8
貸倒引当金繰入額	-	11
特別損失合計	0	19
税金等調整前四半期純利益	444	608
法人税等	187	249
少数株主損益調整前四半期純利益	-	358
少数株主利益	1	1
四半期純利益	255	357

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
 (訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,582
減価償却費	1,486	1,734
減損損失	-	212
賞与引当金の増減額(は減少)	187	242
役員賞与引当金の増減額(は減少)	84	80
受取利息及び受取配当金	57	50
支払利息	33	24
持分法による投資損益(は益)	5	9
有形固定資産除却損	83	66
解約保証金等受入益	-	457
売上債権の増減額(は増加)	338	232
たな卸資産の増減額(は増加)	55	344
仕入債務の増減額(は減少)	24	12
未払金の増減額(は減少)	219	85
未払消費税等の増減額(は減少)	146	120
その他	1,311	1,541
小計	4,278	4,875
利息及び配当金の受取額	57	50
利息の支払額	33	25
法人税等の支払額	722	1,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579	3,628
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	125	179
有形固定資産の取得による支出	2,197	2,093
その他	100	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,222	2,309
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	894	909
短期借入金の返済による支出	491	459
長期借入れによる収入	-	200
長期借入金の返済による支出	700	820
配当金の支払額	152	150
少数株主への配当金の支払額	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	185	331
その他	22	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	658	645
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	699	672
現金及び現金同等物の期首残高	5,684	6,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,383	6,769

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,560
減価償却費	1,486	1,734
減損損失	-	212
賞与引当金の増減額(は減少)	187	242
役員賞与引当金の増減額(は減少)	84	80
受取利息及び受取配当金	57	50
支払利息	33	24
持分法による投資損益(は益)	5	9
有形固定資産除却損	83	66
解約保証金等受入益	-	457
売上債権の増減額(は増加)	338	232
たな卸資産の増減額(は増加)	55	344
仕入債務の増減額(は減少)	24	12
未払金の増減額(は減少)	219	85
未払消費税等の増減額(は減少)	146	120
その他	1,311	1,542
小計	4,278	4,854
利息及び配当金の受取額	57	50
利息の支払額	33	25
法人税等の支払額	722	1,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579	3,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	125	179
有形固定資産の取得による支出	2,197	2,072
その他	100	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,222	2,288
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	894	909
短期借入金の返済による支出	491	459
長期借入れによる収入	-	200
長期借入金の返済による支出	700	820
配当金の支払額	152	150
少数株主への配当金の支払額	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	185	331
その他	22	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	658	645
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	699	672
現金及び現金同等物の期首残高	5,684	6,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,383	6,769

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(1. 略)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販 ・整備	業務受託	不動産	レジャー サービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,146	3,266	2,120	2,558	6,862	29,953	566	30,519
セグメント間の内部売上 高又は振替高	60	1,423	30	282_	144	1,942	406	2,348
計	15,206	4,689	2,151	2,840_	7,007	31,896	972	32,868
セグメント利益又はセグメン ト損失( )	296	257	210	902	42	1,116	28	1,145

(後略)

(訂正後)

(1. 略)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販 ・整備	業務受託	不動産	レジャー サービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,146	3,266	2,120	2,558	6,862	29,953	566	30,519
セグメント間の内部売上 高又は振替高	60	1,423	30	278_	144	1,937	406	2,344
計	15,206	4,689	2,151	2,836_	7,007	31,891	972	32,864
セグメント利益又はセグメン ト損失( )	296	257	210	902	42	1,116	28	1,145

(後略)

(1株当たり情報)  
 (訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 990.40円	1株当たり純資産額 970.17円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 22.81円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 29.20円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	694	880
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	694	880
期中平均株式数(千株)	30,433	30,164

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 8.40円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 12.23円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	255	368
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	255	368
期中平均株式数(千株)	30,431	30,162

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 989.68円	1株当たり純資産額 970.17円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 22.81円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 28.47円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	694	858
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	694	858
期中平均株式数(千株)	30,433	30,164

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 8.40円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 11.84円 (注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	255	357
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	255	357
期中平均株式数(千株)	30,431	30,162

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

神姫バス株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 荒井 憲一郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石田 博信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神姫バス株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神姫バス株式会社及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は、訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。